

米原市立米原小学校 学校だより

入江の里

令和 5 年 9 月 27 日(水) 第 7 号

【文責】 校長 億田明彦

TEL 0749-52-0029 FAX 0749-52-0464

<https://maibara-e-maibara.edumap.jp/>

〈児童数〉 4 9 1 名 (9/27 現在)



学校教育目標：時をたいせつに 強みをいかし 和のある 米原小

「名勝負は相手を敬い 相手との共同作業」

朝、夕の秋風が心地よい季節となってきました。いよいよ、今週 9 月 30 日(土)に運動会が実施されます。今年の運動会の児童会スローガンは、『 にじのように かがやけ 』です。運動会を通して、一人ひとりが虹のように七色に輝いてほしいと願っています。私は、運動会の取り組みから、各学級がより良い集団づくりを目指してほしいと思っています。運動会は、子どもたちの一生懸命さや、全力で演技する姿が見られ、大きな感動を覚えます。もちろん「勝ち負け」もありますが勝ったら嬉しいし、負けたら悔しいのはあたり前です。しかし、負けた時に負けを受け入れ、勝った相手をリスペクトできた時、そこから更なる成長につながるものです。運動会を通して、全力で体を動かす喜びを味わい、相手をリスペクトする力を育てていきたいと思えます。

「名勝負は、素晴らしい相手がいたからできる」また、「名勝負は相手を敬い、相手との共同作業によって成り立つ」と言われます。子どもたちや保護者の皆様的心里に残る素晴らしい運動会にしたいと思えます。当日のご声援をよろしくお願いいたします。



「朝鑑賞」(絵画の鑑賞)を学校経営の視点から

米原市では、「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」をテーマに、子どもたちが自分の良さ・成長・可能性を実感し、自己肯定感を高め、将来の夢をもつことや、社会貢献活動をする中で、自己有用感を高め自分を社会に生かす志を抱くことを柱として、その夢や志を実現させるために、子どもたち自身が自ら考える教育を実践しています。

これらを実現するための切り口として、本校では、子どもの自己肯定感が高まる「朝鑑賞」に取り組んでいます。月 1 回の「朝鑑賞」を学級で実施する中で、先ず感じたのは、子どもも教師も「答えが自由な世界」を味わうことができます。子どもたち一人ひとりが口々に言葉を発し、お互いの考えを聞き「そういう考え方もあるよね」と他者の考えを否定しません。自分の考えと他者の考えを擦り合わせ、新たな考え方を生み出していきます。この取り組みを通して、他者を理解するには対話が最も重要であることが見えてきます。その過程で、子どもたちは多様性に気づき、他者を理解していきます。「朝鑑賞」では子どもたちが作品を見て、描いてあることから自分の考えを出し、作者の意図まで深く考えていきます。「答え」は自由で、それぞれが感じた思いを出し合うことで、コミュニケーション能力が高まり、自己肯定感が育成されていきます。

新学習指導要領で育む「資質・能力」をはじめ、本市が目指す「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」の実現に向けて、「朝鑑賞」の取り組みを実践しています。



2年生 近江図書館見学

2年生が9月7日(木)に生活科の見学で、近江図書館に行きました。近江図書館ができた経緯や図書館全体の本の冊数、来館者数など図書館に関することをたくさん知ることができました。普段は見ることができない閉架書庫まで見学させていただき、近江図書館での学びが深まりました。

—児童の感想—

「おはなしの部屋は赤ちゃんがはいはいできるようにじゅうたんになっているなんて知りませんでした。



こんど読み聞かせがあるときに、いつてみたいと思いました。

(莉桜さん)

湖東に「渡邊楠亭」あり

米原小学校の校長室には、実に温和な顔つきで、何かを子どもたちに話しかけているような肖像画が、かけられています。この人は、「湖西に中江藤樹あり、湖東に渡邊楠亭あり」とたたえられた、江戸時代後期の儒学者の渡邊楠亭(わたなべなんてい)さん、筑摩生まれです。楠亭さんのすぐれた学問と徳をしたって集い学ぶ人々は、地域住民にとどまらず、彦根藩士や地方寺院の子弟など全国に及びました。身分や貧富で相手を選ぶことなく、教えを求めるものには、分け隔てなく親身になって学問を教えられた偉人です。



3年生 米原消防署見学

3年生が9月12日(火)に社会科の見学で、米原消防署に行ってきました。消防士の方が着用されている防火服を着させていただきました。また、放水体験をやったり、消防車に乗ったり、普段体験できない貴重な体験をさせていただきました。—児童の感想—

「わたしは、はじめて長いホースをもって、とてもおもしろかったです。いろんな車やどうぐをせつめいしてもらいました。家族にも話しました。(志暢さん)



米原曳山まつり

10月7日(土)～9日(月)まで米原曳山祭が開催されます。今年は、旭山組のみの子ども歌舞伎になります。このお祭りは湯谷神社の祭礼行事として江戸時代後期に始まったそうです。町内の1年生から6年生の男子が曳山上で子ども歌舞伎を演じます。本校児童の子ども歌舞伎役者を紹介します。

【旭山(あさひやま)組】

- (6年) 勇慥さん
- (5年) 洸さん
- (3年) 樹さん
- (3年) 創一朗さん
- (2年) 定政さん
- (2年) 結琉さん



1学期「詩の暗唱」の合格者(詩を3つ暗唱できた児童)は、全校で75%(368名)でした。紙面の関係で、合格者の名前を掲載いたしません。2学期も10月から11月に実施します。

10月・11月の主な行事予定

10/2(月) 振替休業日

10(火) 避難訓練、口座振替日

13(金) やまのこ(4年生)

19(木) 河南部連合運動会(6年生)

20(金) 河南部音楽会(3年生)

27(金) 28(土) 修学旅行(6年生)

11/6(月) 委員会活動

10(金) ヤマミュージアム校外学習(2年生)

13(月) クラブ活動

16(木) 園小中教育フォーラム(米原中)

21(火) マラソン大会

28(火) アクアト校外学習(1年生)